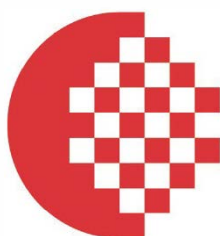


令和4年度
文化芸術による子供育成推進事業
—巡回公演事業—

実施の手引き (実施校用)



文化庁

令和4年4月
文化庁参事官(芸術文化担当)付 学校芸術教育室
近畿日本ツーリスト株式会社

目 次

①「文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－」 概要	…	1-2
② 事業実施について	…	3-9
③ ワークショップ・本公演について	…	11-15
④ 交通費について	…	17-23
⑤「令和4年度文化芸術による子供育成推進事業 －巡回公演事業－」公演団体一覧	…	25-30
⑥「文化芸術による子供育成推進事業」ウェブサイト	…	31-33
⑦「文化芸術による子供育成推進事業」実施要綱	…	35-40

文化芸術による子供育成推進事業 事務局

近畿日本ツーリスト株式会社
文化芸術による子供育成推進事業事務局
〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-14-24
西新宿KFビル301(KNTビジネスクリエイト内)
TEL: 0570-064-203 / FAX: 03-6730-6006
E-mail: (都道府県・政令指定都市)j4-kodomogeijutsu@gp.knt.co.jp
(実施校)junkai-gakkou@gp.knt.co.jp
事業ウェブサイト URL: <http://www.kodomogeijutsu.go.jp/>
※開局時間 10:00-17:00(平日)

【事務局移転のお知らせ】

5月下旬に事務局の移転を予定しております。
電話・メールでの問い合わせ先に変更はありません。
移転に伴う作業のため、5/23(月)～5/31(火)の期間につきましては、
書類の送付をお控えいただけますよう、お願いいたします。
6月以降は下記の住所へご送付ください。

▶移転先住所(6月以降) 〒163-0236 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル36階

① 「文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—」概要

① 「文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—」概要

①-1: 事業の趣旨

文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—は、小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業です。

①-2: 事業実施方法

全国を10ブロックに分割し、公演種目(合唱、オーケストラ等、音楽劇、児童劇、演劇、ミュージカル、バレエ、現代舞踊、歌舞伎・能楽、人形浄瑠璃、邦楽、邦舞、演芸、映像、メディアアート等)を割り振って実施します。公演の実施に当たっては、事前に公演に関するワークショップを行い、児童・生徒を実演に参加させるとともに、実演指導又は鑑賞指導を行います。

①-3: 事業実施期間

実施期間は次のとおりとします。

- (1)ワークショップ: 令和4年5月2日(月)から令和5年1月31日(火)まで
- (2)公演: 令和4年6月1日(水)から令和5年1月31日(火)まで

①-4: 事業計画

令和4年度公演団体の実施計画書を参照してください。実施計画書が掲出されるまでの期間は、令和4年度学校募集の際に提示している「実施希望調書」の内容を参照してください。

※なお今年度の実施については、新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止の観点から、必要に応じて、プログラムや実施方法を一部変更して行う場合があります。また、実施にあたり懸念事項等がある場合は、実施団体又は事務局へ御相談ください。併せて、対応検討のために実施団体より事前調整の御連絡が入ることがありますので、御協力いただけますようお願いいたします。

①-5: 主催者

主催者及び共催者は次のとおりですが、必要に応じて会場の管理者、市(区)町村、市(区)町村教育委員会を「地元共催者」として加えることができます。

[主催者] 文化庁

[共催者] 都道府県、都道府県教育委員会、政令指定都市、政令指定都市教育委員会のいずれか又は複数及び実施校

※以下、共催者及び文化庁が認める共催者(会場の管理者、市(区)町村、市(区)町村教育委員会)をあわせて「地元共催者」と表記します。

①-6: 会場

実施会場は、原則として小学校・中学校等の施設とします。ただし、複数の学校が合同で実施する場合や全校児童・生徒を収容できる施設がない場合等には、文化施設等適切な施設で実施することができます。この場合の経費は、児童・生徒の移動費を除き、学校又は共催者の負担となります。

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から、三密(密集・密閉・密接)にならないようにする等の工夫をお願いします。

①-7: 参加者

児童・生徒、教職員、保護者等を対象としています。

※より多くの児童・生徒が優れた舞台芸術に触れられるよう複数校による合同開催を行う場合は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、三密(密集・密閉・密接)にならないよう、鑑賞人数の再調整等の工夫をお願いします。なお大規模校であり1公演内では1学年全体の鑑賞も困難な状況や、応募時に合同開催の調整済みであり調整が困難な場合は、実施団体へ御相談ください。

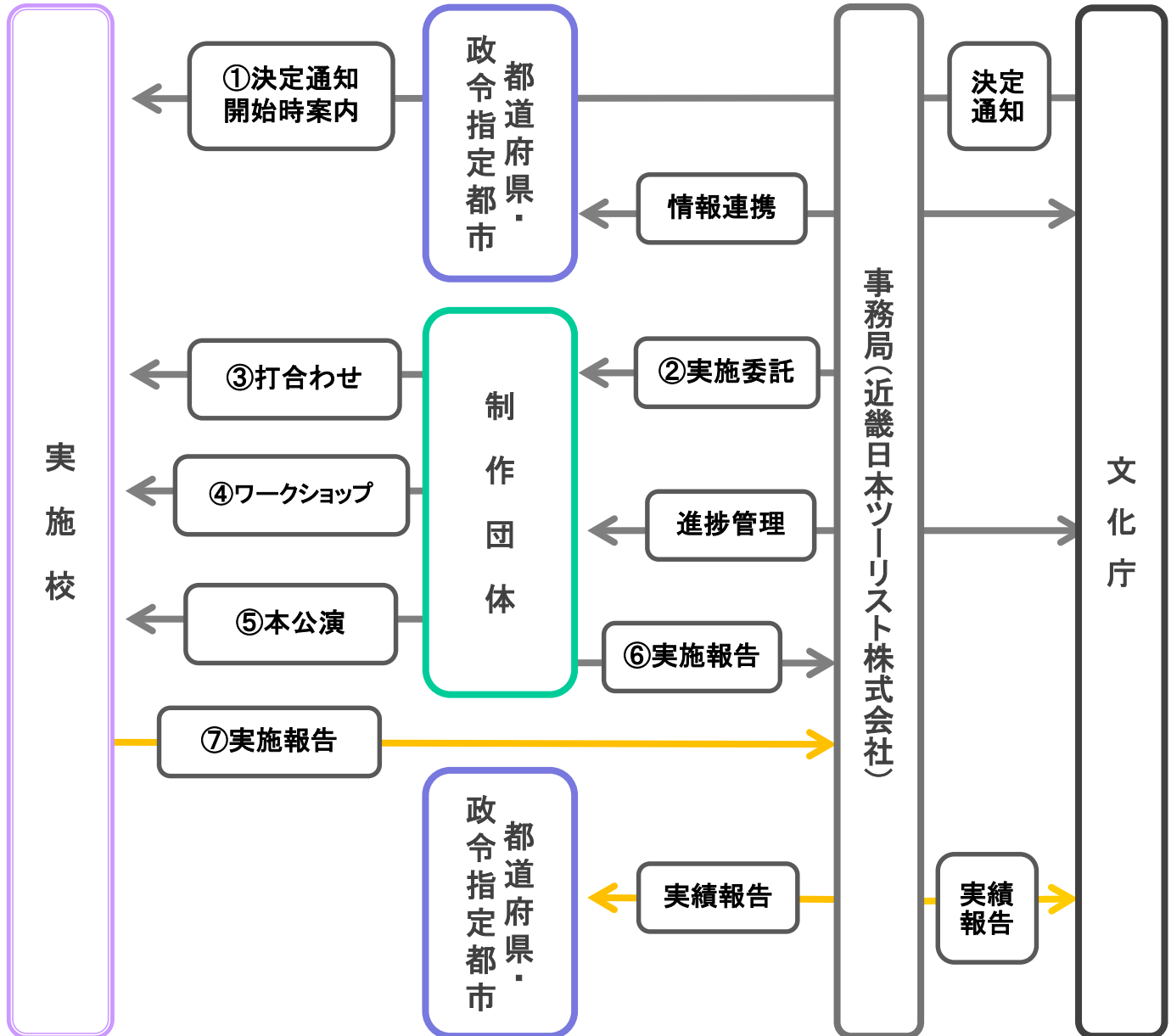
② 事業実施について

② 事業実施について

②-1: 事業全体の流れ

※令和4年度の実施においてはワークショップを事前に行うことが困難な場合、安全性の観点から、別途会場下見のみを行う場合があります。

※令和4年度より変更となる箇所 ↔



【書類の提出等についての留意事項】

※ 令和4年度より、学校からの連絡・提出は直接事務局へ行うことに変更となりました。

※ ただし都道府県・政令指定都市、市区町村によっては、必要な部分において、引き続き都道府県等での確認や取りまとめを行ってから事務局へ提出する場合や、特定事項においては都道府県等への報告を必要とする場合もございます。都道府県等の指示がある場合は、その指示を踏まえて、提出や各種報告を行っていただけますようお願いいたします。

②-2: 実施校が行う準備・報告書について

下記に併せて、新型コロナウイルス感染症の影響により、公演日程が変更となった場合は日程変更届、公演中止となった場合は事業中止報告書の提出が必要となります。(詳細は9ページ)

決定通知・開始時案内

- 制作団体と本公演開演時間・ワークショップ開催日時の調整
- ワークショップ事前準備 (制作団体との電話連絡等)
- ワークショップ実施30日前までに事務局へ交通費申請書(様式11)の提出(必要な場合のみ)

ワークショップ

- ワークショップ終了30日または令和5年2月28日いずれかの早い日までに事務局へ交通費支払依頼書又は交通費請求書(様式12)の提出(申請した場合のみ)
- 本公演事前準備(制作団体との電話連絡等)
- 本公演実施30日前までに事務局へ交通費申請書(様式11)の提出(必要な場合のみ)
- 本公演前に制作団体より公演プログラム(データ)の受け取り(任意)

本公演

- 本公演終了30日または令和5年2月28日いずれかの早い日までに事務局へ実施報告書(様式13)と実施状況調(様式14)の提出
- 本公演終了30日または令和5年2月28日いずれかの早い日までに事務局へ交通費支払依頼書又は交通費請求書(様式12)の提出(申請した場合のみ)

※各提出書類の提出先については、事務局ではなく各都道府県・政令指定都市となる場合がございます。提出先については各都道府県・政令指定都市担当部局にご確認ください。

②-3: 学校の負担経費

文化庁が、公演に直接係る経費、公演団体の交通費及び児童・生徒の開催場所への移動に係る経費(17～23ページ「⑤交通費について」参照)を負担します。

それ以外の経費(下記①～④)は共催者の負担となります。

①学校の施設設備の使用に係る経費:光熱水料、灯油代、暖房機レンタル等

②体育館の条件整備に係る経費:ピアノ移動・調律費等

③文化施設を利用する場合の会場借上料(付帯設備等を含む)

④その他:諸雑費

- 公演内容・時期により、上記の費用が必要となる場合がありますので留意してください。
- 公演に支障のないよう、ご準備をお願いします。

②-4: 提出書類 一覧

今年度より提出先は全て事務局(近畿日本ツーリスト株式会社)に変更となりました。

種類	様式	提出書類	事務局への提出締切	提出方法	参考
交通費に関する書類	様式11	・交通費申請書 ・バス会社等の見積書	実施の30日前迄	Excel・PDFデータを送信	P.17-19
	様式12-1	・交通費支払依頼書 ・バス会社等の請求書	公演終了後30日又は2月28日いずれかの早い方	支払依頼書/業者請求書 ともに原本を郵送	P.20-21
	様式12-2	・交通費請求書 ・支払証明のできる書類		請求書/支払証明 ともに原本を郵送	P.22-23
実施報告に関する書類	様式13	実施報告書	公演終了後30日又は2月28日いずれかの早い方	Excelデータを送信	P.12-13
	様式14	実施状況調			P.12・14-15

メール送付先:junkai-gakkou@gp.knt.co.jp

件名:【△△県】:〇〇市立〇〇学校【様式名:提出書類名】令和4年度巡回公演事業

※感想文等については、直接団体へ御送付ください。

各書類様式は下記の**本事業のウェブサイトよりダウンロード**してください。(P31～33参照)

URL <http://www.kodomogeijutsu.go.jp/>

②-5: 留意事項

① 事務の外部委託について

本事業は、外部業者へ事務を委託して実施します。

書類の宛名は、提出先と宛名が異なる場合がありますので、御注意ください。

【様式13】実施報告書については文化庁及び近畿日本ツーリスト株式会社宛て、

【様式12】交通費支払依頼書兼請求書については近畿日本ツーリスト株式会社宛てとしてください。

② 安全確保について

ワークショップや公演当日の共演時、また舞台装置の搬入・搬出時等においても、安全確保については十分に留意してください。

③ 児童・生徒の参加について

※ワークショップ・公演当日の共演の参加については、**三密(密集・密閉・密接)にならないよう、実施前に必ず**制作団体と相談してください。

④ 公演団体との連絡調整について

実施校は、制作団体と連絡を取り、十分な事前調整を行ってください。ワークショップ・本公演がより充実したものとなるよう、共演内容や方法についてもよく話し合った上で内容を決定してください。

また、事業の円滑な実施のため、次のような点についても確認してください。

【スケジュール】

- ・公演団体の来校時間
- ・搬出入の流れと時間
- ・リハーサル(共演のリハーサルを含む)等
- ・休憩のタイミング

【撮影について】

- ・写真や動画の撮影が可能か

【その他】

- ・搬出入の経路等
- ・来場する車両の大きさ(寸法・重量)
- ・その車両が通れる経路はどこか
- ・駐車位置はどこか(体育館に横付け可能か)等
- ・昼食のとり方
- ・ゴミの処理の方法
- ・控室の準備
- ・**コロナウイルス感染症予防対策** 等

※特に、応募の際に確認いただいた団体の出演希望調書内の会場条件について、十分に満たしていないものがある場合は、ワークショップの前に必ず団体側へお伝えいただき、会場の確認に立ち会いたいなど御協力をお願いします。

⑤ 関連の取組について

本事業の実施に関連して、授業時間やワークショップ・本公演の前後の時間を使って、あるいは本公演プログラムの一環として、次のような取組を実施するとより効果的です。

- ・関連内容の授業の実施
- ・感想発表
- ・質問コーナー
- ・舞台裏見学 等

これらの活動は、公演内容の理解を深めるだけでなく、児童・生徒にとって公演団体と身近に交流する貴重な時間となりますので、本事業の実施を普段はできない様々な学習の機会として活用してください。

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から、三密(密集・密閉・密接)にならないようにする等の工夫をお願いします。

⑥ 会場設営について

搬入・会場設営は、基本的には公演当日の朝に行いますが、公演日程や仕込みの内容等によっては前日から作業を行う場合があります。作業予定については制作団体に確認を取り、調整してください。また、会場設営のための協力をお願いします。可能な限り御協力をお願いします。

⑦ 日程の変更について


原則として本事業(ワークショップ・本公演ともに)の延期・中止は認められませんが、天災・インフルエンザ等のやむを得ない理由により予定していた日程での実施が不可能となった場合、速やかに事務局へ報告してください。また、制作団体と連絡をとり、延期日程を調整してください。延期日程が決まり次第、事務局へ報告してください。

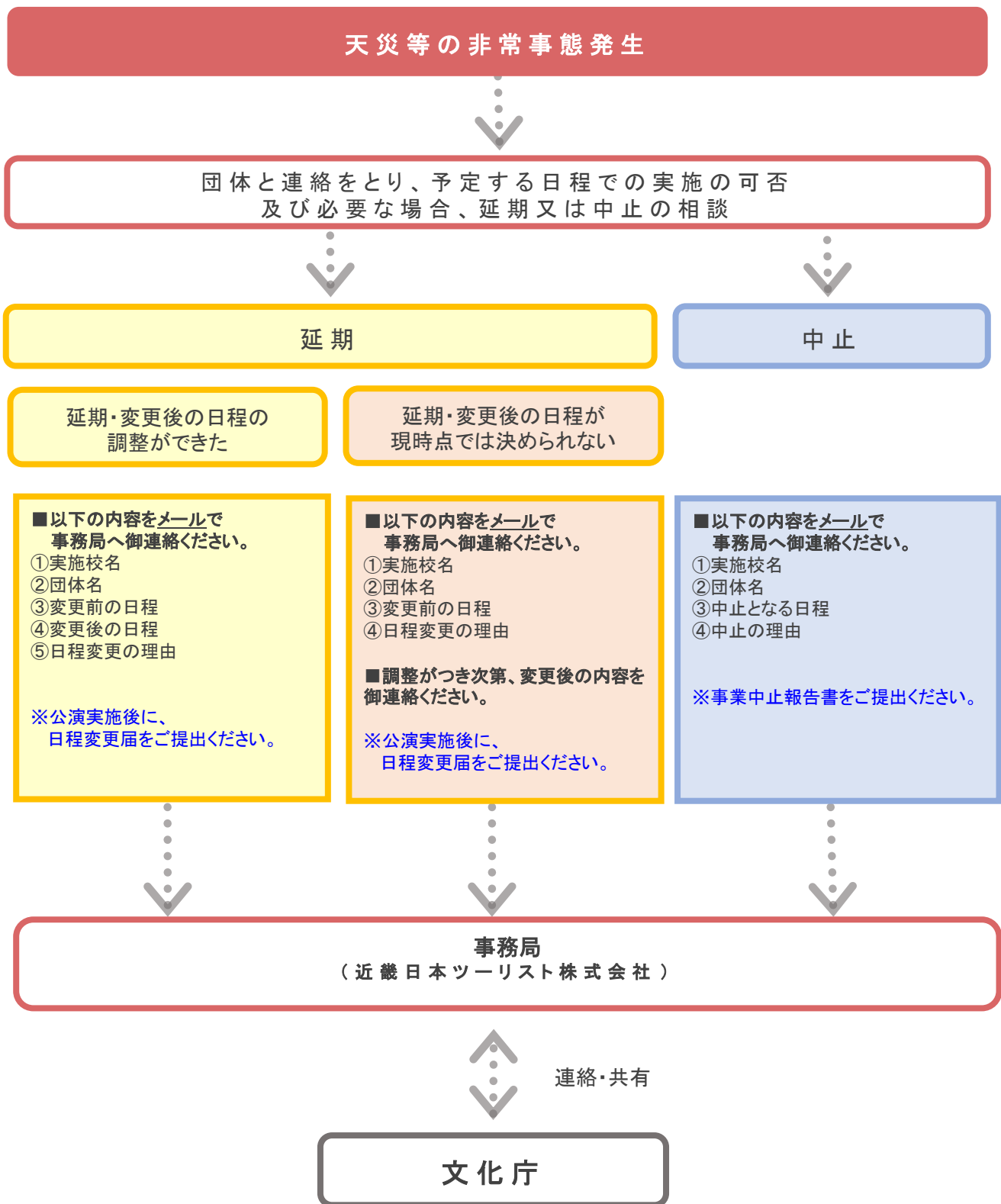
※手続きの流れについては9ページの「(参考) 天災、インフルエンザの流行等により、やむを得ず延期する場合の手続き」を参照してください。

⑧ その他

●公演終了時に学校から公演団体に対し、花束を贈呈している事例がありますが、強制ではありません。

※実施にあたり、新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止対策について懸念事項等がある場合は、実施団体又は事務局へ御相談ください。また、授業時間との兼ね合い等から、ワークショップの時間が確保できない等の状況が見込まれる場合も、できる限り早い段階で実施団体へ御相談ください。実施時間の短縮や事前学習教材の送付等、必要に応じた対応を検討します。(事業全体の予算には限りがありますので、必ず御希望に沿えるということではありませんが、事業全体の状況を踏まえ、文化庁、事務局、実施団体間において、可能な限り対応を検討します。何卒、御理解と御協力をいただけますようお願いいたします。)

 (参考) 天災、インフルエンザの流行等により、やむを得ず延期する場合の手続き



※実施校からの連絡・提出先については、事務局ではなく各都道府県・政令指定都市となる場合がございます。連絡・提出先については各都道府県・政令指定都市担当部局にご確認ください。

memo

③ ワークショップ・本公演について

③ ワークショップ・本公演について

③-1: ワークショップについて

舞台鑑賞だけでなく、事前にワークショップを行い、公演当日に制作団体と子供たちが共演することが、この事業の大きな特徴です。

ワークショップは、原則として本公演の1か月前までに、制作団体から指導者を数名派遣し、授業2時限程度(90分程度)行います。日程・時間は、実施校と制作団体との間で調整してください。

ワークショップまでに、練習等の児童・生徒による準備が必要な場合は、事前に資料(台本、楽譜、音源、映像など)を制作団体から送付します。

※今年度の実施については、新型コロナウイルス感染症の防止対策の兼ね合いにより、通常の形式でのワークショップ実施が困難な場合も想定されます。ワークショップの中止や変更の必要が生じた場合は、速やかに制作団体へ御相談ください。各制作団体においては、ワークショップ実施形態や実施方法について代替案の提案が可能な場合があります。

③-2: 本公演について

公演当日は、舞台鑑賞のほか、子供たちと公演団体との共演を行います。共演内容・方法については、公演団体と十分話し合い、実施してください。

③-3: 公演プログラムについて

公演団体から実施校にデータを送付します。各実施校にて必要部数を印刷し、配布してください。

③-4: 公演終了後の提出書類

本公演終了後、次の書類を提出してください。

【様式13】実施報告書 **提出：Excelデータのみ**

※原則実施終了後30日又は令和5年2月28日(火)のいずれか早い日までに提出

【様式14】実施状況調 **提出：Excelデータのみ**

※原則実施終了後30日又は令和5年2月28日(火)のいずれか早い日までに提出

※ データ送信先:junkai-gakkou@gp.knt.co.jp

件名 :【△△県】:〇〇市立〇〇学校【様式〇:様式名】令和4年度巡回公演事業

※各提出書類の提出先については、事務局ではなく各都道府県・政令指定都市となる場合がございます。提出先については各都道府県・政令指定都市担当部局にご確認ください。

今年度より送付先が変更となっておりますので御留意ください。

③-5: その他の留意事項

実施報告書及び実施状況調の内容は、今後、文化庁の資料として使用することや本事業のウェブサイト等で公開することがありますので、あらかじめ関係者の承諾を得ていただくようお願いいたします。また、提出された資料等は返却いたしません。

※公演終了後の報告・提出書類については、実施校(事務連絡(決定通知)記載校)からの報告・提出となります。

※WSのみ実施の場合も実施報告書(様式13)・実施状況調(様式14)の提出が必要となります。

実施日又は提出する日付を必ず記入してください。

様式13

文化庁参事官(芸術文化担当)付
学校芸術教育室
近畿日本ツーリスト(株) 御中

第 号
令和 年 月 日

事務連絡(決定通知)に記載されている都道府県・政令指定都市名を選択してください。

「都道府県・政令指定都市」名を選択してください。
なお、事務連絡(決定通知)を受けた後に学校名の変更があった場合は、変更届の提出が必要です。速やかに事務局へ連絡してください。

都道府県
政令指定都市名

実施校名

実施校所在地

実施校代表者

担当者

連絡先 (- -)

令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—
実施報告書

令和 年 月 日付け事務連絡(決定通知)より決定のありました令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—について、事業が終了しましたので、下記のとおり報告します。

事務連絡(決定通知)に記載されている発行日を記入してください。
記入しますとセルの色が戻ります。
※ご不明な場合は、事務局または各教育委員会にご連絡ください。

※都道府県・政令指定都市ご担当者に置かれましたは、事務連絡(決定通知)に記載されている発行日を採択校へご連絡ください。
記載がない場合は、再発行依頼又は、受取ができませんのでご注意ください。
※発行日は、採択時期により異なります。

公演団体名	
ワークショップ 実施日	都道府県・政令指定都市を選択後、公演団体名を選択すると、制作団体名が表示されます。 (表示されない場合は、団体一覧P25-30を参照の上、記入ください。)
本公演 実施日	
事業内容	
事業実施による 効果及び成果	今後の事業運営にあたり、参考とさせていただきます。必ず御記入くださるようお願いいたします。
今後の課題 及び問題点	今後の事業運営にあたり、参考とさせていただきます。お気づきのことがございましたらできる限り御記入くださるようお願いいたします。

黄色の箇所を記入してください。

朱色の箇所は選択式になっています。

水色の箇所は計算式又は自動反映が設定されていますので、青色の欄には入力しないでください。

* 入力必須項目

プルダウンより選択ください。
選択できない場合や表示されない場合は、P.25-30の団体一覧を参照の上、記入ください。

都道府県・政令指定都市名→公演団体の順に選択してください。

都道府県・政令指定都市 *	実施校名 *
〇〇県	〇〇市立〇〇学校

選択式、その他を選択した場合は、会場の種類を記入してください。

事務連絡(決定通知)後に学校名の変更があった場合は変更届の提出が必要です。
速やかに事務局へ連絡してください。

ワークショップ		【実施日】* 令和 4 年 〇 月 〇 日	
会場 *	実施校の体育館	ホール・その他を選択した場合	
参加者数 *		合同開催参加校名	
※合同開催参加校がある場合、合計人数を記入してください。		1 〇〇町立〇〇小学校 6	
小 1	100 人	2	7
小 2	100 人	3	8
小 3	90 人	4	9
小 4	90 人	5	10
小 5	90 人	実施内容(250文字) *	
小 6	80 人	〇〇〇〇〇250文字程度〇〇〇〇〇	
中 1	人		
中 2	人		
中 3	人		
在校生その他	人		
教職員	20 人		
保護者等	人		
参加者 総合計	570 人		

合同開催の場合は合計人数を記入してください。

選択式、その他を選択した場合は、会場の種類を記入してください。

本公演		【実施日】* 令和 4 年 〇 月 〇 日 〇)	
会場 *	実施校の体育館	ホール・その他を選択した場合	
参加者数 *		合同開催参加校名	
※合同開催参加校がある場合、合計人数を記入してください。		1 〇〇町立〇〇小学校 6	
小 1	100 人	2 〇〇市立〇〇小学校	7
小 2	100 人	3 〇〇市立〇〇中学校	8
小 3	90 人	4 〇〇町立〇〇中学校	9
小 4	90 人	5	10
小 5	90 人	実施内容(250文字) *	
小 6	80 人	〇〇〇〇〇250文字程度〇〇〇〇〇	
中 1	50 人		
中 2	50 人		
中 3	50 人		
在校生その他	0 人		
教職員	30 人		
保護者等	50 人		
参加者 総合計	780 人		

該当事項のある場合に
入力してください。

合同開催の場合は合計人数を記入してください。

共催者負担経費			
用途	金額	負担者	合計
			0 円

①、⑤の場合は教科又は行事を記載してください。

①、⑤の場合は教科又は行事を記載してください。

該当の番号①~⑤を選択してください。

※該当する番号を選び記入してください。 *				
①通常教科	②総合的な学習の時間	③学校行事	④課外活動	⑤その他
ワークショップ	① 音楽	本公演	③	

※①、⑤の場合は教科名又は行事を記載してください。

No.2

ブロック	種目
A	ミュージカル
公演団体	
〇〇劇団	

都道府県・政令指定都市	実施校名
〇〇県	〇〇市立〇〇学校

全体的評価 文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—を実施して *

■「児童・生徒にどのような効果がありましたか。」 ※該当する番号横の 内に○をつけてください(複数回答可)

1	<input type="radio"/>	舞台芸術への関心を高めることができた
2	<input type="radio"/>	豊かな心や感性、創造性をはぐくむことができた
3	<input type="radio"/>	コミュニケーションの活性化に役立てることができた
4	<input type="radio"/>	自己認識・他者理解を深めることができた
5	<input type="radio"/>	教科学習への意欲を高めることができた
6	<input type="radio"/>	文化部活動に役立てることができた
7	<input type="radio"/>	学外の専門家の能力への関心を高めることができた
8	<input type="radio"/>	日本の文化芸術に親しみ、理解を深めることができた
9	<input type="radio"/>	他国の人々や文化への関心を高め、理解を深めることができた
10	<input type="radio"/>	CDやDVD等では得られない反応があった
11	<input type="radio"/>	学校行事として文化芸術に関する行事が定着するきっかけとなった
12	<input type="radio"/>	学校教育の指導方法に役立てることができた
13	<input type="radio"/>	子供たちの個性や能力を発見したり、理解する機会となった
14	<input type="radio"/>	児童生徒、教員、学校に変化や効果が表れたエピソードや様子がある

該当する欄に○

「14」に該当する場合記入

15 その他 (250文字)

「15」に該当する場合記入

教職員・担当者としての感想をお聞かせください。(250文字) *

〇〇〇〇250文字程度〇〇〇〇〇

記入必須項目

実施上の問題点、その他ご意見がありましたら記入してください。参考にさせていただきます。(250文字)

〇〇〇〇250文字程度〇〇〇〇〇

任意記入項目

児童・生徒の文化芸術体験状況

■「公演当日まで、文化芸術(◆)を間近で鑑賞したことはありましたか。」

※ホームルーム等で下記の文化芸術体験についての質問をして頂き、その結果を下表に集約してください

【本公演に参加した児童・生徒への質問】

- ① 文化芸術を間近で鑑賞したのは今回が初めてだった
- ② 他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった
- ③ 今回の種目も鑑賞したことがあった
- ④ よく覚えていない

- ◆対象とする文化芸術の種目は以下のとおりです。
- ◆CDやDVDによる鑑賞は除きます。
- ◆本事業のワークショップでの体験は除きます。

【種目】

- ・「音楽」(合唱、オーケストラ等、音楽劇)
- ※ポピュラー音楽のコンサートは除く
- ・「演劇」(演劇、児童劇、ミュージカル)
- ・「伝統芸能」(歌舞伎・能楽、人形浄瑠璃、邦楽、邦舞、演芸)
- ・「舞踊」(バレエ、現代舞踊)
- ・「メディア芸術」(映像、メディアアート等)

文化芸術体験児童・生徒数 *

※合同開催参加校がある場合、合計人数を記入してください。

	①	②	③	④	合計	
小 1	60	20	10	10	100	人
小 2	50	45	5		100	人
小 3	45	40	5		90	人
小 4	30				90	人
小 5	40			5	90	人
小 6	40				90	人
中 1	35				50	人
中 2	35				50	人
中 3	25				40	人
在校生その他					0	人
総合計	360	235	90	15	700	人

記入必須項目

【注意】実施報告書類は、公演終了後速やかに、事務局へ提出してください。なお、実施状況調(本様式)の提出はExcelデータにてお願いいたします。

memo